



千葉県の国際化施策 ～国際交流と多文化共生社会づくりの取り組み～

千葉県総合企画部国際課

千葉県の国際化施策の概要

千葉県では、国籍や言語、文化、習慣などにかかわらず全ての県民が共に安心して暮らし、活躍できる県づくりを進めるとともに、諸外国・地域との相互理解の促進、グローバル人材の育成を進めています。

国際交流の取り組み

(1) 米国・ウィスコンシン州

ウィスコンシン州はアメリカの中西部に位置し、工業・観光業・酪農業のバランスの取れた州です。同州とは1990年に姉妹提携し、2004年に千葉県側に千葉ウィスコンシン協会が設立されて以降は、県民が主体となって、文化・教育の分野を中心に相互に友好使節団の派遣受け入れをするなど、交流が進んでおります。友好使節団の派遣については、新型コロナウイルス感染症の影響により一時中断されていましたが、2024年、5年ぶりに再開することができました。



2024年、千葉県友好使節団によるウィスコンシン州議事堂での「佐原囃子」公演

(2) ドイツ・デュッセルドルフ市

デュッセルドルフ市はドイツ西部に位置し、多くの日系企業が進出し、欧州最大級の日本人コミュニティが形成されています。同市とは2005年以降、相互に使節団を派遣するなどして、スポーツ・経済・文化な

ど幅広い分野での交流を続け、2019年5月に姉妹提携を結びました。本県では例年、同市で開催されている日本文化紹介イベント「日本デー」にブースを出展し、体験や展示を通じて、本県の魅力をPRしています。また、2025年6月に、本県のマスコットキャラクター「チーバくん」と同市のキャラクター「トージ」が描かれた、交流を記念するマンホール蓋が設置されました。



幕張のメッセモール内にある友好広場に設置された交流を記念するマンホール蓋

(3) 台湾・桃園市

桃園市は台湾北部に位置し、台湾の空の玄関口である台湾桃園国際空港が立地するなど、本県と共通点が多くみられる都市です。同市とは2016年の友好交流協定締結以降スポーツ・文化などの分野で交流を行っております。2025年2月には、桃園市で9年ぶりに開催された「2025台湾ランタンフェスティバル in 桃園」において、チーバくんランタンと本県PRブースを出展し、本県の魅力を発信しました。

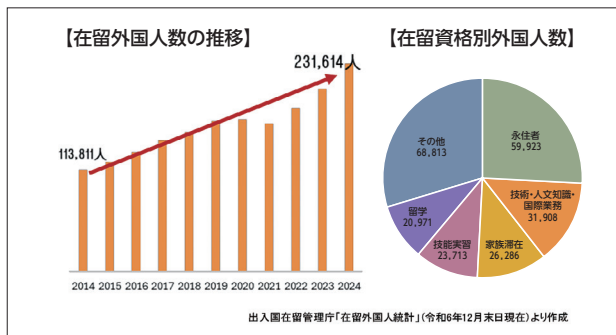


「2025台湾ランタンフェスティバル in 桃園」におけるチーバくんランタン

多文化共生社会づくりの取り組み

(1) 千葉県外国人数の状況

2024年12月末現在の千葉県の在住外国人数は23万1,614人であり、県人口の3.7%を占めています。在留資格別では、「永住者」、「技術・人文知識・国際業務」、「家族滞在」の順に多く、特に「家族滞在」が全体に占める割合は全都道府県中1位(11.3%)となっています。



(2) 地域日本語教育の推進

2021年に策定した「千葉県地域日本語教育推進事業プラン」において、①地域日本語教育人材の育成・連携、②学習者のニーズに応じた多様な学習機会の提供、③地域日本語教育を総合的かつ効果的に推進する体制の構築と関係者の連携促進の3つの取り組みの柱を掲げており、これに基づき、日本語学習支援者の育成や新たな人材の掘り起こし、地域での新規教室の立ち上げ支援など、さまざまな取り組みを進めてきました。

2025年度は、日本語教育を受ける機会が得られにくいと考えられる外国人労働者の配偶者などを対象とした基礎日本語教育を新たに実施しています。オンラインを併用した入門レベルの日本語レッスンを行うほか、日本料理体験や健康相談などの生活オリエンテーションの回も設ける予定です。本講座をきっかけに、外国人労働者の家族の皆さんが地域に積極的に参画していただければ幸いです。

(3) 外国籍の子どもの学習支援

日本で暮らす外国籍の子どもが、将来、経済的に自立して生活していくためには、日本の高校卒業資格を得ることが重要ですが、義務教育年齢を超過して来日した子どもに対しては、高校就学に必要な日本語などを学習する環境が整っていないことが課題です。

千葉県では、2024年度から、義務教育年齢を超過した外国籍の子どもの高校就学に向けた学習指導に取り組

むNPO法人などに対する支援を行っています。

人口減少社会を迎え、外国人も働き手や地域の担い手として役割が期待される中、外国籍の子どもたちが高等教育を受け、職場や地域を支える人材に育っていくよう、今後も地域での取り組みを支援していきます。

(4) 災害時の外国人支援

地震や風水害などの災害時には、千葉県国際交流センターと連携して「災害時多言語支援センター」を設置し、①災害情報の多言語での発信、②翻訳など市町村の支援、③避難所への語学ボランティアの派遣、④外国人県民からの相談への対応などの活動を行うこととしています。

センターの設置・運営を円滑に行えるよう、毎年、県および千葉県国際交流センターのほか、市町村や市町村国際交流協会の関係職員にも参加いただき、災害時多言語支援センター運営訓練を実施しています。また、県内各地で「災害時外国人サポーター養成講座」を開催し、支援に携わる人材の育成を進めています。

(5) チーバくんグローバルパートナーズ

県内在住などの外国人を「チーバくんグローバルパートナーズ」に任命し、外国人住民としての視点を生かした県への意見提案や情報発信などに協力いただいています。2025年度は、15の国・地域出身の24人の皆さんが、交流イベントなどへの参加、それぞれのSNSなどを通じた本県の魅力発信、県施策に関する意見交換など、活発に活動しています。



2025年度「チーバくんグローバルパートナーズ」任命式

おわりに

コロナ禍を経て、海外との往来を伴う交流が再び活発化しつつあります。今後も、長年にわたって築き上げてきた姉妹・友好都市との関係性を生かし、諸外国・地域との相互理解やグローバル人材の育成に向けて、国際化施策を進めていくとともに、国籍および文化的背景などのさまざまな違いにかかわらず、誰もがその人らしく活躍している社会の実現に向けて取り組みを進めてまいります。